

除染適正化に関する取組について

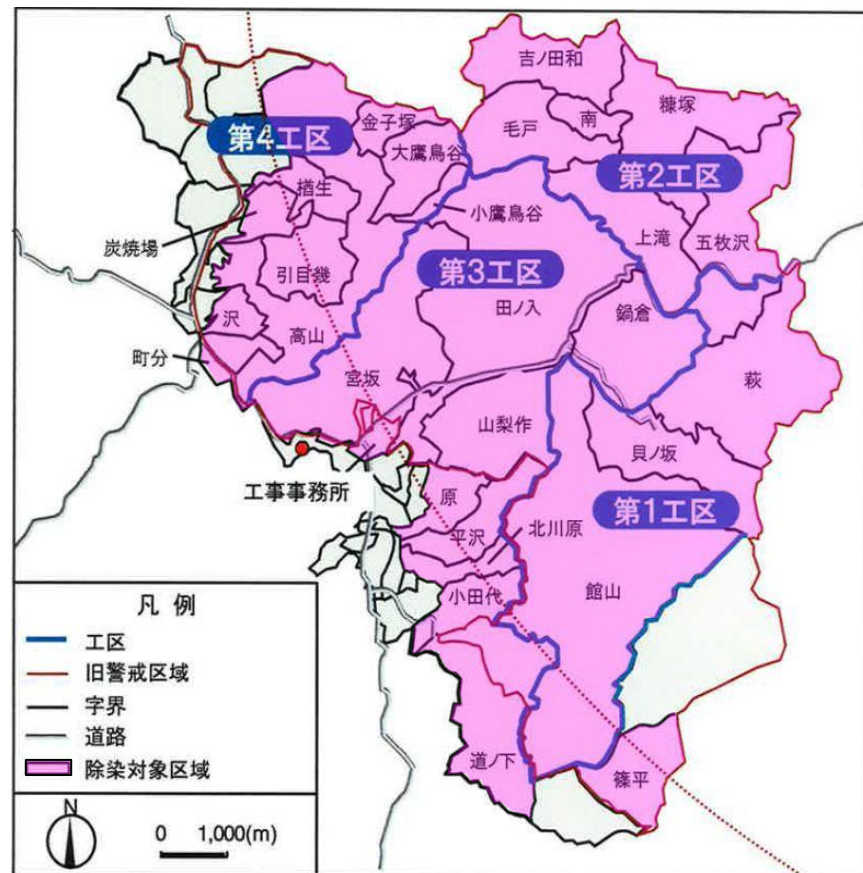
平成25年7月8日

大林・東亜 かえるかわうちJV
所長 松谷英之（大林組）

除染事業の概要

	平成24年度 川内村除染等工事	平成24年度 川内村除染等工事 (その2)
工期	H24.7.30～ H25.6.28	H25.3.18～ H25.12.27
作業員数	最大704人/日 延べ79,212人工	最大417人/日 延べ7,078人工
除染対象地域	旧警戒区域内 (森林は住宅近傍 20m以内)	旧警戒区域内の 農地及び 草地・芝地等
工事数量	約258ha 建物：783棟 道路：約34ha 森林：約186ha	約175ha 農地：約93.7ha 森林：約8.7ha 牧草地：36.1ha 草地：約35.6ha

【除染範囲平面図】



除染事業の実施にあたり、仮置場への物流を考慮して対象地区を4工区に分割し、各工区での除染作業工程管理と品質確認を行った。

作業員の教育

①「適切な除染作業の実施徹底について」を教育

H25.1.7

全作業員444名受講（朝礼時）

他除染区域で発生した不適切な作業を紹介し、
自らの問題として再発防止を徹底した。

②作業員を対象とした除染勉強会を開催

H25.1.31～6.21 計17回実施

298名受講

作業員の使命感・倫理観の向上を図った。

③作業指揮者を対象とした勉強会を開催

H25.5.14～6.26 計4回実施

46名受講

作業指揮者の職務の再確認とさらなるレベル
アップを図った。

【除染勉強会の様子】



【作業指揮者勉強会の様子】



施工手順遵守の仕組み（1）

① 良い作業例の掲示

会議室や作業員食堂に良い施工事例を掲示し、作業手順の再確認と情報の水平展開を図った。

【第4工区高山クラブの水路養生の紹介】

かえろかわ5JV 除染速正施工の紹介 平成25年1月29日

●紹介事例（その1） 第4工区：高山クラブの水路養生

写真-1 水路の状況

●施工場所 高山クラブ
高山クラブ基盤森林部の法面に水溜がある。

●作業内容 法面の切枝、および落ち葉等の除去。

●危険予備金項目

1. 法面の切枝・落ち葉を除去する際に、水溜へ切枝・落ち葉が落ちるのを防ぐ必要がある。
2. 水溜に作業員が足をとられやすい。⇒ 作業現場の安全性確保が必要。

写真-2 法面の切枝・落ち葉が水路に落ちないように、足場板とネットを併用して工区内水路開口部をすべて養生した。

写真-3 ネット、足場板、合板で水路開口部を全面ふさいだ

写真-4 水路養生後（開口部にはネットを設置した）

1. 作業時、水路へ切枝・落ち葉が水路に落ちるのを100%防ぐことができた。
2. 作業の安全性確保ができた。トラブル無く作業が終了した。
3. 作業の効率が上がった。予定（4日）より1日早く作業が終了した。

以上
かえろかわ5JV 近藤次郎

② 優良作業指揮者の表彰

除染品質の向上と除染作業に対するモチベーションアップを目的として優秀な作業指揮者を表彰した。



施工手順遵守の仕組み（２）

③意見箱の設置

不適切な除染が行われていないか、作業員から直接通報できるよう意見箱を各工区及び作業員食堂に設置した。

情報担当者を任命し、通報の集約と周知、対応状況の確認に努めた。

【ご意見記入用紙】

[illegible]

【作業員食堂入口】



④空間線量計の支給

全作業指揮者に個人線量計とは別に空間線量計を支給した。除染前後での空間線量を自身で計測することで、除染手順の遵守と除染に対するモチベーションアップを図った。



地元とのコミュニケーション（1）

- ①かえるかわうちTシャツの購入と着用
- ②地下水サミット協力
- ③川内村主催フランス料理炊き出し参加
- ④クリスマスイルミネーション設置



⑦コミュニティセンターの除雪協



適性化に向けたさらなる取り組みの強化

①作業員への教育の強化による使命感の昂揚

専門家による除染の意義・目標等に関する講演会の開催
川内村住民の帰村への思いを記録した動画の活用

②自発的な除染勉強会を通じたカイゼンと意欲の向上

小グループ制による自発的な勉強会開催を支援
勉強会の資料、実施場所の提供
勉強会開催時の日当の支払い
提案された業務カイゼンの他グループへの展開